

日三廿八日決行ヲ協議シ準備中ナリ  
會社側ハ再次ノ交渉ニ對シ断然断絶拒絶シ多クモ或ハ庚午  
トシテ約四千餘ラ山守衛長ニ付按シ此範圍ニテ解決方  
法ヲ講ジ居ル様子ナリ而シテ友ニモ東京日々新聞記者相崎  
元者何等カ仲裁ノ案ヲ執ルヘノ奔走シ同人及山守一極決意  
新聞記者一ノ兩名廿五日控組合ヲ訪シテ前シ妥協案ヲ  
向々交渉シタル事實アリ故ニ側ハ五千円位ニテ認諾ノ口吻ヲ淺  
シクトシテ

(十一月二十一日)

上ニ示タル委多ク多ク大木ノ兩名ハ二十六日松岡駒吉ト日本  
労働総同盟本部ニ會見シ運動方法ニ就テ打合ヲナシ  
夫レヨリ中央法律相談所ニ片山弁護士ヲ訪ヒ雇傭契約  
ニ关シ相談シ同所歸漢セリ  
一方松岡駒吉ハ日本海員組合横浜支部理事大道幸謙  
吉ト共ニ在京中ノ須田社長ヲ訪問シ解雇身者ノ増額其他  
ニ関シ哀訴嘆願ヲ為シタル趣ニテ是レガタメ同社長ヨリ宮原等  
務、赤坂重役ニ即時上京ヲホメ来リ宮原等亦能上京折合ノ結  
果此際會社ガ直接交渉ニ應ズル如キハ將來悪影響ヲ及ボ  
スヲ以テ断然拒絶スルニ決シタル由ナリ  
尚會社ハ二十七日日曜ヲ全体ノ告示ヲ行ハシタルニ誠首、職工等ヨリ  
此機ニ乘リ諸惑セラルヲ慮リ退場實際ニ至リ俄ニ出勤セラルト